

【研究論文発表】

発表時間:15分/論文(質疑応答含む)

会場1			
開始時間	タイトル	筆頭著者名(所属)	座長
セッション:①国立公園・景観・環境教育・生態系・森林環境・市民参加・環境配慮行動			
9:15	基礎自治体によるウェブサイトを通したラムサール条約湿地に関する情報の発信状況	平原 俊(東京農工大学大学院 農学研究院)	本田裕子(大正大学)
9:30	ヒグマをめぐる札幌市民の住民の意識と環境教育への期待について	高橋正弘(大正大学)	〃
9:45	行政通知に基づく国立公園の文化景観概念の政策的活用に向けた基盤的理解の深化に関する研究	横関隆登(長野大学環境ツーリズム学部)	〃
10:00	東京23区の区立小中学校におけるビオトープの実態に関する研究	福田夏子(野生生物研究会)	〃
10:15	琵琶湖の外來魚駆除に対する支持の程度に影響を与える要因	平山奈央子(滋賀県立大学 環境科学研究院)	〃
10:30	環境NPOの発展のために団体側と社会側で必要な事項の分析-人材と財源を巡る課題解決の取り組みに着目して	包 薩日娜(国立環境研究所)	平山奈央子(滋賀県立大学)
10:45	高度情報消費社会における主体形成の契機としての戯曲ワークショップに関する実践的研究	阿部健一(uni)	〃
11:00	佐渡市の住民によるトキの「地域のシンボル」視をめぐる考察	本田裕子(大正大学 地域創生学部)	〃
11:15	信仰と文化にもとづく環境観とプラスチック汚染緩和行動の関係性: マレーシアを対象に	糸井風音(筑波大学理工情報生命学術院)	〃
11:30	中山間地域の集落住民によるオンライングループ活用の実態解明	田中 初(京都大学大学院 農学研究科)	〃
(休憩)			
開始時間	タイトル	発表者名	座長
セッション:①国立公園・景観・環境教育・生態系・森林環境・市民参加・環境配慮行動			
12:45	北海道駒ヶ岳南側斜面の登山道周辺における火山荒原群落の特性	斎藤達也(北海道大学 大学院 環境科学院)	藤稿亜矢子(東京女子大学)
13:00	Analysis of Herders' Participatory Behavior toward Saxaul Forest Restoration in Mongolia	Batsukh NARANTUYA(Graduate School of Asia-Pacific Studies, Waseda University)	〃
13:15	出身地域の都市化度と景観認識の関係性:回復感・場所感覚・景観選好に着目して	及川智也(筑波大学システム情報工学研究群)	〃
13:30	日本庭園植栽における「ゆらぎ」知覚量の三次元点群データを活用した記譜法	矢作 岳(千葉大学大学院園芸学研究院)	〃
13:45	都市公園の文化的生態系サービスの空間分布と季節変化:小金井公園におけるPPGIS調査	吉田知樹(東京都第四建設事務所)	〃
14:00	森林資源調査の自動化に向けた三次元点群における機械学習手法の開発	大場 真(東北工業大学 ライフデザイン学部)	〃
14:15	国立公園周辺の景観保全に資する景観条例と景観計画の役割—世界文化遺産候補地阿蘇地域の大規模太陽光発電施設を事例に—	袁 星雅(筑波大学大学院 世界遺産学学位プログラム)	錦澤滋雄(東京科学大学)
14:30	都市の景観パターンが生態系サービス供給に与える影響	山根 直葵(東京大学大学院 農学生命科学研究科)	〃
14:45	舗装道路の路面間隙は海産植物の代替ハビタットとなりうるか	村上 健太郎(北海道教育大学(函館校)教育学部)	〃

会場2			
開始時間	タイトル	発表者名	座長
セッション: ②環境経済、まちづくり、リスクコミュニケーション、ライフスタイル、循環型社会、災害復興			
9:15	How Mutual Risk Communication Affects Public Support for Nuclear Power Plant Development	Di CHENG(Graduate School of Social Sciences, Waseda University)	錦澤滋雄(東京科学大学)
9:30	環境政策をめぐる異種の資料群を横断した市民言説のトピック比較分析	石井康平(千葉大学大学院 人文公共学府)	〃
9:45	場所への愛着と被災への不安の感情的要因が気候変動の対策行動に与える影響	松本安生(神奈川大学人間科学部人間科学科)	松岡俊二(早稲田大学)
10:00	災害ボランティアセンターと市民社会組織による被災者支援体制構築の成果と課題ー令和元年台風第19号における栃木県宇都宮市を事例としてー	坪井聖太郎(帝京大学 経済学部地域経済学)	〃
10:15	社寺境内地のマーケット利用運営とその空間構成ー真宗大谷派名古屋別院を事例としてー	山本明里(名古屋市立大学大学院芸術工学研究科)	〃
10:30	震災復興における高齢農家の自給的農業と特産品化への試みー福島県川内村のハウスドウ栽培をケーススタディとしてー	大和田興(国立環境研究所 福島地域協働研究拠点)	〃
10:45	沿岸集落における災害時の孤立化発生要因に関する調査研究	宮本将来(日本大学大学院理工学研究科)	〃
11:00	日本のESG債の利回りに影響を与える要因の実証分析	有賀健高(埼玉大学学術院 人文社会科学部研究科)	白川 博章(名古屋大学)
11:15	大学関係者が関与するCSAに対する大学生の評価と支払意思額	大石卓史(近畿大学アグリ技術革新研究所)	〃
11:30	京都御苑の犬連れ利用者と一般利用者のコミュニケーションと消費行動の比較	竹下明日香(京都産業大学生命科学部産業生命科学科)	〃
(休憩)			
開始時間	タイトル	発表者名	座長
セッション: ③地域循環システム・再生エネルギー・資源管理・熱環境対策・リスク認知・環境指標・環境アセス・GIS			
12:45	再生可能エネルギーに関する地域共生型課税条例に基づく協議会の合意形成上の機能	長澤康弘(東京科学大学 環境・社会理工学院 融合理工学系)	白川 博章(名古屋大学)
13:00	アスベスト未報告工事探知のための産業廃棄物管理票を用いた解体・改修業者特定手法の検討	豊永悟史(熊本県保健環境科学研究所)	〃
セッション: ④農業・林業／農村環境、土壌・水環境・土地被覆・気象観測			
13:15	関東甲信地方におけるスマート農業技術の導入状況と諸課題「N.RECS」を事例として	井上 栞(日本大学大学院生物資源科学研究科)	辰己賢一(名古屋市立大学)
13:30	有機農業の面的拡大に向けた課題と方策:経営規模と直接支払制度の効果に着目して	黒川裕也 ((株)日本総合研究所)	〃
13:45	人・農地プランによる担い手への農地集積	木村有希(京都大学農学研究科)	〃
14:00	気候変動の影響と適応技術の評価のための農業所得分析モデルの開発	小林慎太郎((国研) 国際農林水産業研究センター)	〃
セッション: ②環境経済、まちづくり、リスクコミュニケーション、ライフスタイル、循環型社会、災害復興			
14:15	社会における市民サービスロボット活用の可能性に関する考察ー市民意識調査よりー	上山 肇(法政大学大学院 地域創造インスティテュート)	杉本卓也(千葉商科大学)
14:30	Self-Authorship and Participant Engagement in Policy Dialogue: Evidence from a Policy Dialogue in Fukushima	Weiye LIN (Graduate School of Asia-Pacific Studies, Waseda University)	〃
14:45	日常の暮らしの中で行動意図に影響を与えるライフスタイル要素の主成分分析	菅原 玲(石巻専修大学経営学部経営学科)	〃

会場3			
開始時間	タイトル	発表者名	座長
セッション:③地域循環システム・再エネ導入・資源管理・熱環境対策・リスク認知・環境指標・環境アセス・GIS			
9:15	再生可能エネルギー事業の推進における中間支援組織の役割	白田優美(東邦大学大学院 理学研究科)	平野勇二郎(国立環境研究所)
9:30	マイクロプラスチックのリスク認知構造:放射線との比較から	平山 睦(名古屋大学大学院 環境学研究科)	〃
9:45	サマータイム導入による暑熱ストレス量低減効果について	前嶋玲輝(東京理科大学 創域理工学研究科)	〃
10:00	循環型社会実現に向けた住宅における内装材・家財ストックの推計	林 優輝(名古屋大学大学院 環境学研究科)	〃
10:15	GISを活用した家庭系廃食用油の回収・再資源化のCO ₂ 削減ポテンシャルの評価	李 雅娟(北九州市立大学 環境技術研究所)	〃
10:30	自動車とエネルギー部門の構造変化を想定した拡張産業連関表の推計と2030年NDCにおける達成可能性の検討	藤田 衛(名城大学大学院 都市情報学研究科)	吉岡 剛(東京大学)
10:45	福島県における大型太陽光発電施設の建設に伴う植生改変	後藤 忍(福島大学大学院共生システム理工学研究科)	〃
11:00	木質バイオマス熱電供給の熱供給と熱需要のマッチング検証—地域循環システムの出口設計	山崎慶太(国立環境研究所, 島根県立大学, 岩手大学)	〃
11:15	陸上風力発電事業における累積的影響に関する住民意見の内容分析	高木健太郎(東京科学大学 環境・社会理工学院 融合理工学系)	〃
11:30	生活環境圏のCO ₂ 濃度と地域環境との関係性~CO ₂ 濃度の実測データを活用した環境評価指標に基づく検証	ブリ バヌバクタ(名古屋産業大学大学院 環境マネジメント研究科)	〃
(休憩)			
開始時間	タイトル	発表者名	座長
セッション:④農業・林業・農村環境、土壌・水環境・土地被覆・気象観測			
12:45	京都府福知山盆地で発生する霧の季節変化と気温変化	今枝侑香(公立鳥取環境大学大学院 環境経営研究科)	對馬 孝治(日本大学)
13:00	猛暑期の鳥取県で観測された気温と海岸距離の関係性	重田祥範(公立鳥取環境大学 環境学部 環境学科)	〃
13:15	林業従事者におけるマニュアル遵守行動の規定因:性格特性と属性・経験等の検討	高山範理((国研)森林機構 森林総合研究所)	〃
13:30	Phytoremediation Potential of Chrysopogon zizanioides (Vetiver Grass) in Floating Treatment Systems for Agricultural Wastewater in Temperate Japan	Kingshuk ROY(College of Bioresource Sciences, Nihon University, Japan)	〃
13:45	土壌溶出量基準超過土壌における土質や有機汚染物質の違いによる相分配の違いの考察	山関一聖(横浜国立大学都市科学部)	〃
14:00	北海道根室地方の草地における窒素投入量変化による物質動態変化	佐々木章晴(北海道大学農学研究院)	長坂 貞郎(日本大学)
14:15	秋留台地南部の湧水の長期観測による窒素負荷の解析	對馬孝治(日本大学生物資源科学部 環境学科)	〃
14:30	衛星画像を用いた都市内の緑地面積の将来予測に関する研究	宮崎いつ歌(船橋市 環境政策課)	〃
14:45	Evaluation of the Influence of Contrasting Photoenvironments on Paddy Rice Yield in Mountainous Areas of Japan	Yoshiki KUWABARA(Faculty of Agriculture, Yamagata University)	〃